

国際シンポジウム

「社会的能力はどのように発達するのか：心の理論・言語・文化の獲得」

自他の行動の背後にある信念や意図を推測する能力は「心の理論」や「メンタライジング」と呼ばれ、その系統的進化および個体的発達に関して過去 30 年間に多くの研究がなされています。本シンポジウムでは、心の理論の発達が母語や母文化の獲得とどのように関連するのか、そしてそれがより多面的な社会的能力および対人コミュニケーション能力として発達していくのかについて理解を深めることを目指します。また、環境的・生得的要因により、これらの能力の獲得が困難な子供に対して、教育・療育的観点からどのような対応ができるのかについても検討していく機会としたいと思えます。心の理論と言語あるいは文化の関係についての最新の研究成果を、国内外の研究者が報告いたします。加えて発達心理学、言語学、霊長類学といった多分野の研究者が討論をリードします。子供の心の発達、社会認知、言語発達などに関心のある方にぜひご参加いただきたいと思えます。

日時：2012年3月18日(日) 9:45~18:00 開場:9:15

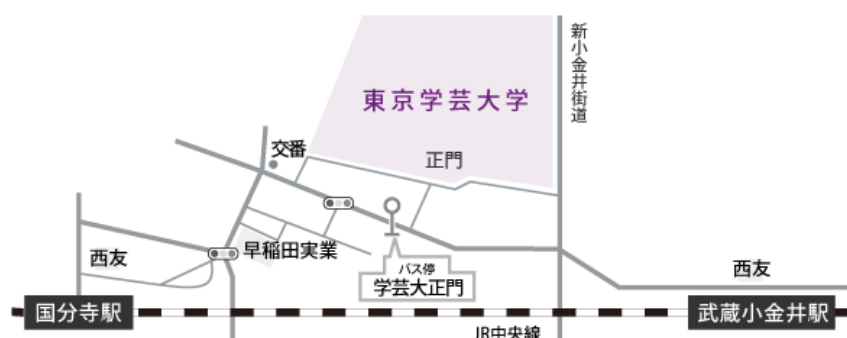
場所：東京学芸大学 西講義棟(W棟) 301教室 東京都小金井市貫井北町4-1-1

アクセス <http://www.u-gakugei.ac.jp/07access/>

構内地図 <http://www.u-gakugei.ac.jp/pdf/gakugeimap.pdf> (西講義棟は34番です)

参加費:無料

資料代:1000円 ※大学院生500円 (休憩時のお茶・コーヒー代も含まれます。当日受付にてお支払いください)



●JR 武蔵小金井駅・北口より

【京王バス】[5番バス停]「小平団地」行に乗車、約10分。「学芸大正門」下車、徒歩約3分(徒歩の場合は約20分)

●JR 国分寺駅より

徒歩約20分(JR国分寺駅北口 → 早稲田実業学校 → 連雀通り/小金井市保健センター前)

主催：東京学芸大学国際教育センター

協賛：科学研究費新学術領域「予測と意思決定」

申込み方法：電子メールで氏名、ご所属、返信用のメールアドレス、懇親会参加の有無を記入のうえ、下記までお送りください。

○電子メール c-event@u-gakugei.ac.jp

※件名を「社会的能力発達シンポ 参加申込」としてください。

お問い合わせ：東京学芸大学国際教育センター事務室 電話 042-329-7727

申込み締め切り：3月12日(月) 先着60名

ウェブページ：http://crie.u-gakugei.ac.jp/event/event_11.html

プログラム:

9:45 開会

10:00—11:00 Martin Doherty, University of Stirling, U.K.
"The generality of metarepresentational development: Theory of mind, language and culture"

11:00—12:00 Stanka Fitneva , Queen's University, Canada
"Culture and theory of mind: Japanese and Canadian children's beliefs about child and adult knowledge"

—昼食—

13:00—13:40 松井 智子 東京学芸大学
「子どもの他者理解と言語文化」

13:40—14:20 内藤 美加 上越教育大学
「日本の子どもにおける誤信念理解:感情理解との関連」

14:20—15:00 藤野 博 東京学芸大学
「聴覚障害児における心の理論の発達」

—休憩—

15:20—15:50 指定討論1 今井 むつみ 慶応大学

15:50—16:20 指定討論2 堀江 薫 名古屋大学

16:20—16:50 指定討論3 橋瀬 和秀 九州大学

—休憩—

17:00—17:50 全体ディスカッション

18:00 閉会

18:30—20:30 意見交換会 (参加費:4000円 ※大学院生は2000円)

※使用言語は英語と日本語になります (フロアからの質問やディスカッションは日本語で結構です)

※当日は生協がお休みで、近隣にレストランなどありませんので、昼食などは各自でお持ちくださることをお勧めいたします。なお正門から3分ほどのところにセブンイレブンがあります。